

# 丸協にゆーす

- 丸協トピック
  - 『丸協のみんな、この指止まれ！企画 ①』
  - 『安全運転・チャレンジコンテスト表彰式』
- 今、知っておきたい物流topics
  - 『中・長距離のフェリー輸送について  
国交省が積載率を公表しました』

丸協の皆さんの興味のある事、趣味など共有、公開します！

プロ野球好き、集まれー！①



東日本グループ  
水口取締役

共配大阪店  
坂口さん

海外事業部  
山崎さん

管理部  
小松係長

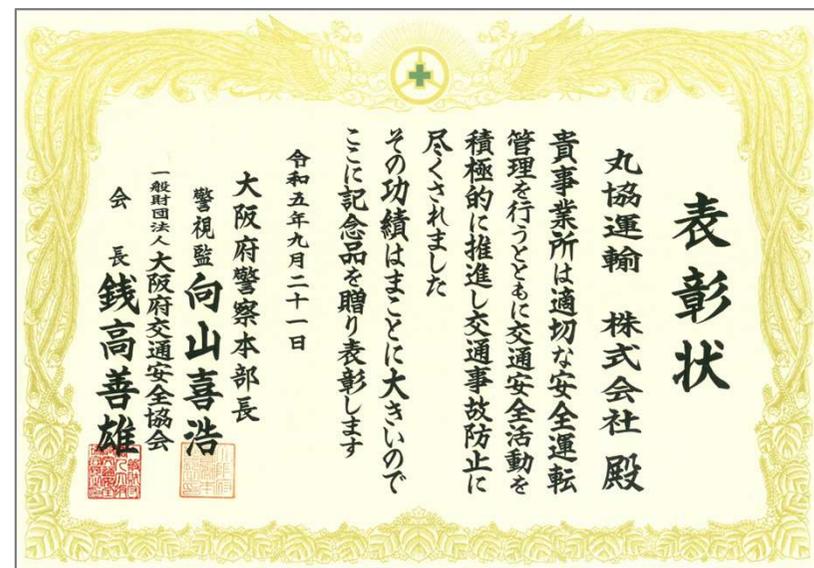
東京営業所  
北原所長

祝 阪神タイガース、オリックスバファローズ優勝！  
CSと日本シリーズを楽しみにしている方たちに登場して頂きました！熱狂的なプロ野球好きの皆さんです。今年優勝した阪神タイガースは何ととっても岡田監督が15年振りに復帰、監督が変わるとこんなにもチームが躍進するんだな、ということがよくわかるペナントレースでした。丸協の渡部社長もよく今年は、岡田監督を見て、「やっぱりその『長』次第やな、会社もそうよ、そらそうよ」と仰っていました。岡田監督の采配、選手の起用方法、当たり前前のことを当たり前前にする、話を聞いてあげる、選手の言い分を受け止めた上で監督として必要なことを伝える、といった姿勢は我々も勉強になることが沢山ありました。

共配神戸店、関西LC業務車両、本社管理部は、東大阪市無事故無違反チャレンジコンテストにおいて優秀な成績をおさめ（昨年10月～3月末の期間中、無事故無違反の結果）、表彰されました。



表彰式は安全品質管理室の横村課長が出席（写真右）



また、大阪府警察本部長より、丸協運輸(株)は、安全運転管理を行い、事故防止に尽くし業務を遂行しているということで右の表彰状を授与致しました。

# 今、知っておきたい物流topics

## 中・長距離のフェリー輸送について国交省が積載率を公表しました

国土交通省は、2024年問題を含めた物流危機への対応のため、モーダルシフトを推奨しています。一方、荷主は「モーダルシフトをしようにもどこに航路があるのか、よくわからない」という状態であり、航路があったとしても、新規荷主を引き受けられるキャパがあるのか、まとまった情報は公開されておらず、具体的にモーダルシフトを検討するのは難しい状況でした。

このような状態を解消するため、国土交通省は事業者へのアンケート調査を行いました。右は、2023年4～6月の調査結果のまとめです。

網掛けをしているのは積載率が70%に満たない航路です。北海道、関東、九州向けでも積載可能なルートはあるといえそうです。今後も継続的に調査するそうです。

中・長距離の定義は下記のとおりです（いずれも片道航路）。  
 中距離：100以上～300km未満  
 長距離：300km以上

### 中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向

凡例

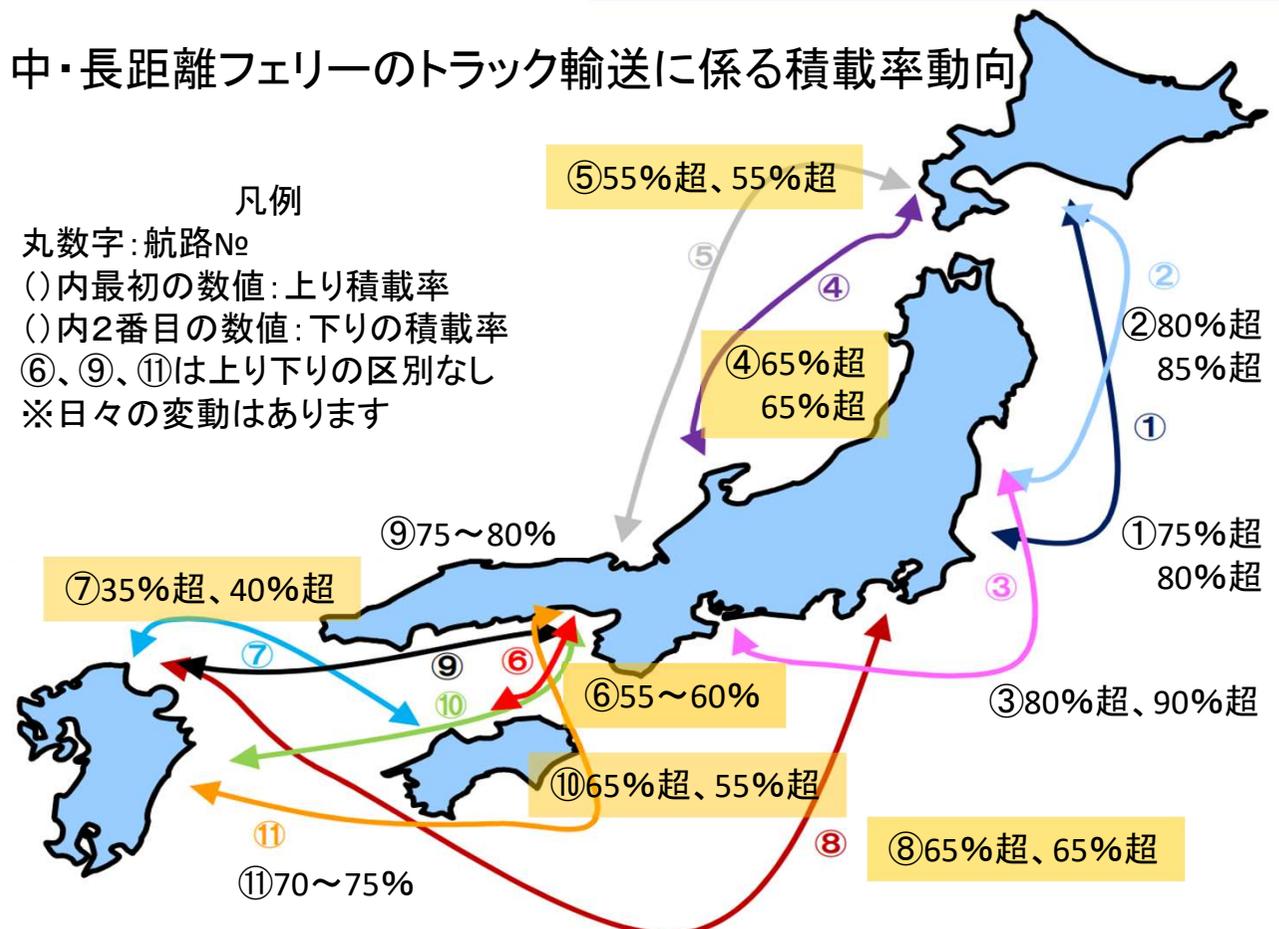
丸数字：航路No

( )内最初の数値：上り積載率

( )内2番目の数値：下りの積載率

⑥、⑨、⑪は上り下りの区別なし

※日々の変動はあります



※資料：国交省HP (<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001624425.pdf>) より作成